

施工手順

- 適応下地:モルタルまたはコンクリート、木継押え下地
- 仕上げ厚 18mm以上

下地水洗い清掃



レイトンス、泥など接着を阻害する物質を水洗い除去して下さい。

1

下塗り材混練り



樹脂と下塗り材の粉体を良く練り合わせて下さい。

2

下塗り材塗り付け



モルタル、コンクリート下地に水湿しをしてから下塗り材を約1mm厚でコテ塗りします。

注)塗り付けた下塗り材の上を歩かないで下さい。

注)柱やチリ線、その他付属が心配される所には、事前にテープ養生して下さい。

3

おっかけまたは乾燥後

上塗り材混練り



上塗り材粉体に水を加えながらよく練り合わせて下さい。

4

上塗り材塗り付け



木ゴテや定木などで平らを取り、金ゴテでならして下さい。たたきの塗り厚は15mm以上必要です。

注)直射日光下ではたたきの日割れすることがあります。少量の水をスプレーしてから、コテでならしてヒビ割れを直して下さい。

注)外部の日なた=約30分後
外部の日陰及び内部=60~90分

5

おっかけまたは30分後

コテならしと石入り施工



打段後、おっかけでコテでならします。

6

おっかけ

表面処理剤吹き付け



たたきをコテでならしたらおっかけで「表面処理剤」を均一にたっぷりと散布します。「表面処理剤」を散布することでたたきの表面の硬化を遅くします。

注)表面処理剤を下地モルタル・コンクリートおよび下塗り材の上に散布しないで下さい。割れの原因になります。散布した場合は、必ず水で洗い流して下さい。

7

3時間以上24時間以内

表面水洗い(タワシまたはブラシ)



たたきの表面は硬化し乾燥色になったらタワシなどを使い表面をこすり洗いして下さい。

●ポイント
指で強く押さえてもへこまないくらい表面が乾燥硬化したら、水洗いできます。
20~30℃:3時間で硬化
5~10℃:4時間で硬化
硬化後20時間程度まで水洗い可能です。

注)あまり早く洗うと表面が傷れますのでご注意ください。

8

6 注)コテならしの際、スタイロフォームを敷いて上に巻くことと仕上げ面にスタイロフォームの跡が付くので必ず木ゴテでムラを取り、金ゴテでならして下さい。

※塗り付けた下塗り材の上を歩かないで下さい。

※柱やチリ線、その他付属が心配される所には事前にテープ養生して下さい。

※モルタル、コンクリートは木継押えとし、2週間以上乾燥養生して下さい。

※モルタル、コンクリート下地以外の下地に施工する場合はお問い合わせ下さい。



表面処理剤散布には、電動式噴霧器や加圧式噴霧器が便利です。